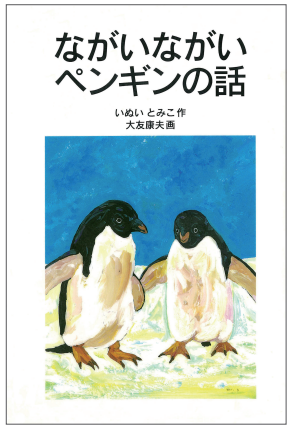
ピグマキッズくらぶの ３年生 S・K さん が えらんだ

「ぼくの わたしの すきな 本」



（出版社：岩波書店）

本の名前

ながいながいペンギンの話

本を書いた人

いぬい とみこ(作) ／ 大友 康夫(画)

こんな本だよ

南きょくで生まれたアデリーペンギンの双子の兄弟、ルルとキキのぼうけんの話です。ペンギンの言ばで ルルは、くしゃみくん。キキは、さむがりやのちびくんという意味です。ぼうけん中にシロナガスクジラに出会ったり、シャチやトウゾクカモメ、ヒョウアザラシにおそわれたり、はらはらどきどきするおもしろい物語です。

この本のここがすき！

ぼくは、たくさんの海の生き物が登場するところがすきです。海の王者シャチにねらわれた時、シロナガスクジラのガイとキキがにげきれるように、ルルがおとりになったところがゆうかんで、とてもかっこいいなあと思いました。それから、ルルとキキがしかられて、夕ごはんのオキアミをもらえなかった日のま夜中に、ふたりでこっそり、近くの氷のうき島へ出かけて、はじめて自分の口でオキアミをすくって食べた場面では、ぼくの口の中にも、つめたい水にまじったおいしいオキアミのごちそうが入ってくるような感じがしました。

厳しい自然のなかで、ルルとキキが力を合わせて
いろいろなことを体験しながら成長していくよ。
ルルの勇気あふれる行動から目がはなせないね。